阿弥陀寺（あみだじ）だより

2022年 9月 1日　第 54号

金剛山 阿弥陀寺
発行人　大谷 義文
〒861－2235 熊本県 上益城郡 益城町 福富 916
TEL（096）289－0424　FAX（096）297－9161
✉amidaji@jcom.zaq.ne.jp
ホームページ　金剛山 阿弥陀寺　検索
郵便振替:01710-8-68921　加入者名：阿弥陀寺事務所

大悲に生きる人とあう　願いに生きる人となる

阿弥陀寺建立
10周年＋2 記念法要
9月10日（土）正午 勤修

今年も無事に田植え

秋醸（しゅうじょう）

30代、お寺に勤めながら仲間とコメ作りを11年間続けた。知識も興味も皆無な農業との不思議なご縁だった。田んぼは2反。種まき、苗取り、田植えは機械を使わないことにした。人力の主役は小中学生とその保護者。

初年、地元の方々にご挨拶に伺うと、区長さんのお宅に農家の方々がすでに集まっていた。

突然、長老が立ち上がり「この辺りはやがて宅地になる。だから田畑の整備は行われず江戸時代のままだ。まあ土管が塩ビ管に代わったくらいだ。ワッハハ」と言う。その長老は「シェンシェ（先生）」と呼ばれていて、常に問題を解決する。例えば、トラクターが通る畔にモグラの穴を見つけると必ずシェンシェに知らせ、判断を仰いでから修繕方法を決めた。

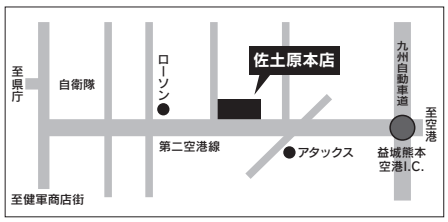
大谷 義文

作業中「おーい」とシェンシェに呼ばれた。駆けつけると「ここに鍬を入れてみろ」と言う。「どうだ、粘土だろう。この場所のコメが一番美味しんだ。農協には出していないから今度食べさせてやる」と言われた。

収穫後、毎年区長さんのお宅で会合がある。終われば飲み会。昼からビールと焼酎をたくさんいただき、気づけば夕暮れ。奥さま方が大きなおむすびを大量に持って来る。酔ったシェンシェが立ち上がり「コメは冷えてからが本当の味だ。美味いぞ」と、真っ白なおむすびを頬張った。「うまい！」私は8つ食べた。お縁では、おじちゃんが夕日を浴びて寝ている。「ほっとけ」と誰かが言うと大笑いが起きる。なぜか、毎年同じ光景が繰り返された。

うなぎ 川魚料理 かわ専

佐土原本店
熊本市東区佐土原1-12-1（佐土原バス停前）
電話 096-360-8488
営業時間
昼／11:00～15:30（オーダーストップ15:00）
夜／17:00～21:30（オーダーストップ21:00）
定休日／毎週火曜日（祝日の場合翌日振替）
7･8月、12･1月は不定休



http://www.kawasen.jp/

石段のグーはグリコや鰯雲

阿弥陀寺建立10周年+2記念出版

阿弥陀寺建立10周年+2記念法要を機縁に、法兄、中井賢隆師との共著、法話冊子『ぐるっと360度!』を発刊するに至りました。前回、発刊しました『ここからはじまる、ここだけの話』に続く第2弾です。

「こんなの真宗の教えではない」という酷評も何のその、恥じ入りながらもまったく落ち込むことなく取り組んだ結果でございます。

中井賢隆師の「あとがき」に、「それは、ほんとうに恥じていないからだ!と言われるかもしれない。だがそうではない。格好いい生き方よりも、恥じ入る生き方こそが人間の生き方(中略)親鸞聖人はこうおっしゃるだろう。『ぐるっと360度!、見回してみろよ。迷惑かけ、世話になったことばかりじゃないか。そんな自分をいただかないで、何が始まるんじゃ!」と記されています。

それから、「記念品として、阿弥陀寺、大谷義文がごあいさつ文『遇』を作成。阿弥陀寺が熊本、益城町で活動を始めた頃の状況を短くまとめ、御礼のごあいさつとさせていただきました。多少の脚色はございますが、寛大な心でご覧いただければありがたく存じます。

『ぐるっと360度!』

阿弥陀寺旧本堂

本堂解体法要 勤行
(平成7年2月21日)

『遇』

『大江戸日記!』

釋 芳隆(大谷 隆)　第2回

霊を見たり感じたりしたことは一度もないが、意外と周りはそうではない。

先日、友人に連れられ除霊に行った。除霊師に「あなたには霊がついていない」と言われ安堵した。職業柄あっては困る。霊への恐怖があれば、お墓参りどころではない。霊を感じたいとは思わないが、時に見えない何かを感じようとすることは大事ではないかと日々思う。

人の心がそうだ。人は常に感情が見え隠れするなかで、表立った心を感じ、裏の見えない心を感じ取ろうとする。そうすることで、衝突し、共感が生まれ、人間関係が成り立っていく。ただ、何も感じ取ろうとしなくなると、自分の都合にとらわれ、相手を傷つけてしまうこともある。

今日、物騒な事件が続く。事の正邪に気を取られ、どこか人の見えない悲しみが忘れられてはいないか。人の交流にオンラインが使われる今の時代、相手の心を感じ取る場面が失われている現況が影響しているのか。

今年も涼をまったく感じさせない猛暑が続く。

『肥後山中膝栗毛』

釋 智明(川村 智明)　第18回

今年の7月のことです。お参り先の仏前に、1本のホオズキがお供えされていました。実の大きさが私の握りこぶしくらいもあり、思わず「すごい、立派ですね」と声が出てしまいました。

すると、お参り先のお母さんが「そうでしょ。衝動買いしてしまったんですよ」と恥ずかしそうにおっしゃいました。

そして「このホオズキが、行きつけのお花屋さんにずらりと並んでいたんです。大きな実に、色づいたオレンジ色があまりにきれいで見惚れてしまったんですよ。8月のお盆までは、あとひと月あったので買う予定はありませんでした。それでも我慢できなくて、1本だけ購入してお供えしました。亡くなったあの人が、考える前に行動する人だったので、その性格が似てしまったのかもしれません。もしかしたら、このホオズキが原因で時期を間違って帰ってきてしまうかもしれませんね」とお母さんは話されました。

先立たれた夫と、ご自身を重ねられていた姿が印象的でお盆を感じさせられたのでした。

『御修行 奮闘記』

釋 博真(栃原 真人)　第39回

幼い頃、お盆で祖父母の家へ行くと、まず仏間に通されてお参りをさせられました。薄暗くて、ひんやりした部屋にかけられた写真には会ったことのないお年寄りがいて、じっとこっちを見ています。両親が手を合わせ、頭を下げているのを横目で見ながら、「この部屋だけ妙な空気だなあ」と思っていました。

今、ご門徒さまのお宅に伺ってお参りをさせていただいています。仏だんには、亡くなられた方のお写真、好きだったお菓子、お別れの手紙などが供えられています。たとえあの世へ行ったとしても、気持ちは繋がっていたいという心を感じます。幼かった私も、そこが特別な思いのある部屋だと子どもながらに感じていたのかと思います。

お盆に実家へ帰りました。子どもたちに「あれがお父さんのお父さんのお父さんだよ」と祖父の写真を指さすと、ポカンと不思議そうな目で見つめていました。「妙な空気」を子どもたちもまた、感じていたらいいなあと思いました。

Off・beat♪

総代のつぶやき 42

子供の頃、一度はやったあの遊び。ジャンケンをして、グーならグリコで3コ進み、チョキならチョコレートで6コ進み、パーならパイナップルで6コ進むという遊びです。

この遊びには子供の頃から疑問がありました。チョキもパーも同じ6になることです。グー、チョキ、パーと3種類あるのに、進めるのは3か6の2種類しか無いという不合理さ。

例えば、パーをパパイヤにすれば4文字になり、3、4、6の3種類になります。

しかし、この年になって思うのです。チョキでもパーでも6コ進み、グーだけが3コ進むというこの奇妙なルールが、この世の不条理を暗示し、かえって面白いのかも知れないと。

子狐萬浪(友田哲郎)　楓組

今回ご紹介する名画ジャズ曲は「私のお気に入り」(My Favorite Things)。皆さまご存じの映画「サウンド・オブ・ミュージック」その中で歌われる曲です。

トラップ家に家庭教師として来たジュリー・アンドリュース扮するマリア先生。ある日雷を怖がる子供たちがマリア先生の部屋に来ます。そこで熱唱し心が通じる場面があります。ジャズのスタンダード・ナンバーとして、テナーサックスの巨人ジョン・コルトレーンの演奏が有名で心が揺り動かされます。日本では、JR東海の観光キャンペーン「そうだ 京都、行こう。」(1993)のCMソングとして使用されました。

四季の変化にあわせて上下する曲調が、京都を見事に演出し、キャンペーンされています。

生書道教室
指導者　生　春翠・勝弘
〒862-0910 熊本市東区健軍本町6-10　電話 096-369-1138

成人部
漢字／臨書／かな／ペン／くらしの書（実用書道）
生徒部
幼児・小中学生
各学年（毛筆・硬筆）

阿弥陀寺　様でのお葬式
ファミリープラン
（家族・親族の安心プラン）
他のプランもございます。
33万円より 税込み
以下の内容が含まれます。
御棺一式　納骨一式　霊柩搬送　ドライアイス　遺影写真　生花祭壇
含まれないもの・・・返礼品、食事、火葬料金
1日葬プランもあります。19.8万円(税込み)より

想いを込めた送り方
想送の木山葬儀社
お問い合わせは！（24時間）
益城町宮園547-3　096-286-4640
携帯 080-5214-4640
メール info@kiyamasougi.jp

阿弥陀寺建立10周年＋2記念法要

日時・9月10日（土）
正午から読経・法話
法話・はが みちこ 布教使（岡山・正覚寺）
中井 賢隆 布教使（大阪・最勝寺住職）
大谷 義博 布教使（東京・西徳寺顧問）

※近隣には駐車場がございません。車でのご来寺はご遠慮いただきますようお願いを申し上げます。

寺子屋「語りの秋」

日時・11月3日（木）2時～4時30分
講師・安田（やすだ）登（のぼる）（能楽師）
玉川（たまがわ）奈々福（ななふく）（浪曲師）

※コロナ感染予防のため、懇親会は予定していません。

寺子屋「歳暮の会」

日時・12月24日（土）2時～4時30分
講師・安田（やすだ）登（のぼる）（能楽師）

※コロナ感染予防のため、懇親会は予定していません。

図書紹介

別冊NHK 100分de名著 集中講義
『平家物語』
こうして時代は転換した

安田 登 著
発行所 NHK出版
定価 990円

なぜ歴史は動き、何が命運を分けたのか？
公家の時代から武家の時代へ、平家から源氏へ。転換期のダイナミズムを描いた『平家物語』。

平家はなぜ栄華をきわめ、没落していったのか。戦乱のなか、人々は何を思い、どう行動したのか。『平家物語』を知り尽くした能楽師が、難解で長大な物語を「大きな出来事」に絞って解説、この1冊で一気に理解する。

時代が動くとき、世の価値観はどのように変化したのか。その変化のありようを私たちが生かせる道とはどんなものなのか。「あわい」「驕り」「運」「命」「浄土」……変化のきっかけとなった鍵語をもとに、歴史が私たちに伝えようとしたことを探る。『太平記』という「その後」から『平家物語』をとらえ直す「補講」を収録。

※阿弥陀寺で販売しています。

猫伏石（ねこぶせいし）の声

♪9月10日（土曜日）
阿弥陀寺建立 10周年＋2法要

コロナ感染予防をして開催いたします。祝賀会は予定していません。

また、駐車場が数台に限られています。近隣に駐車場もございません。

車でのご来寺をご遠慮いただきますようお願いを申し上げます。

葬儀・祭壇 熊本県儀式共済株式会社

ハタオ葬儀社
水前寺斎場
熊本市中央区国府１丁目12-3
TEL.096-364-3220

ハタオ葬儀社
しみず会館
熊本市北区清水新地７丁目4-27
TEL.096-342-5657

豊住葬祭
豊住葬祭斎場
熊本市中央区河原町23
TEL.096-324-4848